

まちづくりのために中心市街地の地籍調査は？ 市長 中心市街地のまちづくりは重要な課題であり、関係各所と協議しながら進めていきたい



令和5年12月議会で「まちづくりのために中心市街地の地籍調査について」と「堅神火葬場の高台移転について」の二件を一般質問をしました。

①地籍調査事業について、現在の調査の進み具合をお尋ねします。

②今後の計画は

副市長 令和5年度から令和8年度にかけて岩倉町の調査を進め、順次、畔賀町、千賀町、堅子町といった順番で実施していく予定です。

④地籍調査を進めていく上で課題は。

副市長 地権者の高齢化や世代交代で、境界立会いが困難になり、境界の確定ができないことがだんだん増えてきているというようだということです。

⑤再開発や、まちづくり、防災という観点からも早急に中心市街地の地籍調査が必要と考えます

別交付税による措置され、対象事業費のうち市は5%程度負担となると考えられます。

①堅神火葬場の建設年月は



環境課長 5年間の改修費用総額は、2455万300円です。

堅神火葬場の高台移転を行う考えは市長 建て替える時には高台へ移る必要があろうと思っています

環境課長 昭和62年3月となっています。（築37年経過しています）

市長 現計画に基づき事業を進めていきたいと考えています。ただし、中心市街地のまちづくりについては、市としても非常に重要な課題であり、力を入れていかなければなりません。

②海拔はどれくらいあり、津波の指定域に含まれるか

環境課長 海抜4メートルで、津波浸水指定域に指定されています。（左下の写真）

（3）過去5年間の改修費用をお答えください。

環境課長 海抜4メートルで、津波浸水指定域に指定されています。（左下の写真）

建て替える時期、節目のときがあつたときは一ースがあるとか、ほかのまちとのバランス等を考えながら、建て替えるときには高台へ移せん。

市長 修繕費用はかかるけども、もの火葬棟には大きな異常はないとか、直ちに移転をすることは考えていません。

④市の公共施設ということで、津波の浸水も心配されるごとも含めて、高台移転を行う考えはない

今まで世古やすひでへのご支援に感謝し、これからも引き続きのご支援をよろしくお願い致します。



編集後記

これまで世古やすひでへのご支援に感謝し、これからも引き続きのご支援をよろしくお願い致します。